



クイック検索

検索

目次

目次

Copyright © 2014 intra-mart CORPORATION

CORPORATION

↑ Top

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
- 3. intra-mart Accel Archiver 2014 Spring からの変更点
- 4. 製品構成・機能一覧
- 5. システム要件
- 6. 検証済み環境
- 7. サードパーティライセンス一覧
- 8. 制限事項
- 9. 保証規程
- 10. 著作権および特記事項

改訂情報

変更年

月日	変更内容
----	------

2014-	初版
-------	----

09-01	
-------	--

2014-	第2版 下記を追加・変更しました
-------	------------------

12-01	■ システム要件を追加しました。
-------	------------------

はじめに

本書の内容

本書ではintra-mart Accel Archiverのリリース内容について記載されています。

intra-mart Accel Archiver 2014 Spring からの変更点

追加機能概要

- セキュリティ機能を強化しました。
 - IM-PDFAutoConverterと連携したコンテンツのPDF変換機能を追加しました。
 - IM-PDFAutoConverter,IM-PDFCoordinatorと連携したコンテンツのセキュリティ設定機能を追加しました。
 - PDF変換およびセキュリティ設定をフォルダ単位に設定できるようにしました。
- ドキュメント編集機能を改善しました。
 - 編集中(一時保存, 申請中, 公開前)のドキュメントは他ユーザが編集できないようにしました。
 - 変更履歴ファイルを複数登録できるようにしました。
 - 関連ドキュメント機能を追加しました。
 - リンク先フォルダからのドキュメント編集機能を制限し、リンク解除に限定しました。
 - ごみ箱の一括削除機能を追加しました。
- タスク管理機能を改善しました。
 - タスクグループを追加しました。
 - タスク検索機能を強化しました。
- 運用管理機能を改善しました。
 - 管理モードを廃止し、プロパティ要件を満たさないドキュメントの表示切替を改善しました。
 - フォルダで指定したフロー定義をドキュメントで変更できないようにしました。
 - フォルダ容量管理機能を追加しました。
- 他システム連携機能を強化しました。
 - URLコピー機能を追加しました。
 - 通知機能でドキュメントの保存場所を通知できるようにしました。
 - ドキュメント自動登録で複数ファイルを1ドキュメントに登録できるようにしました。
- 用語改善
 - 用語・メッセージ・アイコンを改善しました。
 - 英語・中国語に対応しました。

システム要件

- サーバ要件
 - Windows Server 2012 R2 Update 1を追加しました。
 - Microsoft SQL Server 2012を追加しました。
 - Internet Information Services 8.5(IIS) win2012 R2を追加しました。
 - Apache HTTP Server 2.2、2.4 (DSO サポート版)に変更しました。
- intra-mart Accel Platform
 - 対応する intra-mart Accel Platform に2014 Summerを追加しました。
- クライアント要件
 - Windows 7 SP1 + Internet Explorer 10を追加しました。

- Windows 7 SP1 + Internet Explorer 11を追加しました。
- Windows 7 SP1 + Firefox ESR 24を追加しました。
- Windows 8 + Internet Explorer 10を追加しました。
- Windows 8.1 + Internet Explorer 11を追加しました。

検証済み環境

- サーバ環境
 - Windows Server 2008 R2 + JDK7 + Resin 4.0.37 + PostgreSQL 9.3に変更しました。
 - Windows Server 2012 R2 Update 1 + JDK7 + Internet Information Services 8.5(IIS)win2012 R2 + Resin 4.0.37 + Microsoft SQL Server 2012を追加しました。
 - Red Hat Enterprise Linux 6 + JDK7 + Apache HTTP Server 2.4.10 + Resin 4.0.37 + Oracle Database 12cに変更しました。
- クライアント環境
 - Windows 7 SP1 + Internet Explorer 10を追加しました。
 - Windows 7 SP1 + Internet Explorer 11を追加しました。
 - Windows 7 SP1 + Firefox ESR 24.5を追加しました。
 - Windows 8 + Internet Explorer 10を追加しました。
 - Windows 8.1 + Internet Explorer 11を追加しました。

制限事項

【追加・変更された制限事項】

- クライアント環境がIE8の場合、以下の制限事項がございます。
- クライアント環境がIE8・IE10の場合、以下の制限事項がございます。
- PDF変換できるファイル形式は、下記の通りです。
- コンテンツとして登録した際にファイルがサムネイル化されるかは、下記の通りファイル形式によって異なります。
- PDF変換ソフトにIM-PDFオートコンバータを利用する場合、一時保存フォルダがC:/temp/iaaに作成されます。
- 登録したコンテンツに何も記載されていない場合、PDF変換対象となりません。
- フォルダのコンテンツのセキュリティ設定で「ブラウザ以外の参照制限」にチェックを付ける事で、ブラウザ上以外でコンテンツを参照(コンテンツをダウンロードして参照)する事に制限をかけられますが、サポート対象外のブラウザでは、ブラウザ上での参照にも制限がかかります。
- ベースURLが設定されていない場合、ドキュメントの通知・プロパティ相違の通知の機能における「メール」「IMBox」に表示されるURLは、ベースURL部分が表示されません。

製品構成・機能一覧

製品構成

intra-mart Accel Platformのエディションに対し、intra-mart Accel Archiverでは以下のエディションが利用できます。

intra-mart Accel Platformのエ

ディション

intra-mart Accel Archiverの利用可能エディション

Standard Editon	Standard Editonのみ利用可能
Advanced Editon	Advanced Editonのみ利用可能

intra-mart Accel Archiverのエディションにより以下の機能を利用することができます。

intra-mart Accel Archiverのエ

ディション

利用可能機能

Standard Editon	「IM-Workflowとの連携機能」を除く全ての機能を利用できます。
Advanced Editon	全ての機能を利用できます。

機能一覧

以下に本製品の機能一覧を列挙します。

分類

内容

基本機能

- フォルダ参照、登録、編集、削除、コピー、移動、プロパティの設定、タスクの設定、アクセス権設定
- ドキュメント参照、登録、編集、削除、コピー、移動、プロパティの設定、タスクの設定、アクセス権設定、関連ドキュメントの設定
- ドキュメント検索、タスク検索、全文検索
- プラグイン機能(レビジョン管理、公開処理、ポータルへの通知、IMBoxへの通知、メールでの通知、IM-Workflowとの連携、汎用テキスト(登録番号/キーワード/備考))
- タスクグループ登録、タスク登録
- サムネイル生成
- PDF変換
- セキュリティ設定(印刷制限、編集制限、テキスト抽出制限、ブラウザ以外の参照制限)
- URLコピー
- ドキュメントの保存場所を他ユーザへ通知

分類	内容
運用管理者機能	<ul style="list-style-type: none"> ■ プロパティ相違ドキュメントの確認 ■ プロパティ相違ドキュメントを最終更新者へ通知 ■ タスクによるドキュメントの作成状況を確認 ■ フォルダ容量管理
ジョブネット	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公開日到達処理 ■ 通知日到達処理 ■ メール通知処理 ■ インポート ■ サムネイル作成 ■ 自動登録 ■ フォルダ使用量取得 ■ 再作成クローリング、差分クローリング、削除クローリング (IM-ContentsSearchクラウド配下に登録されます。)
ログ出力	<ul style="list-style-type: none"> ■ ドキュメント操作 ■ コンテンツ操作 ■ フォルダ操作 ■ 全文検索 ■ タスク登録 ■ 公開日到達処理 ■ 通知日到達処理 ■ メール通知処理 ■ インポート ■ 自動登録 ■ サムネイル作成 ■ フォルダ使用量取得

システム要件

当バージョンにおけるシステム要件は次の通りです。

サーバ要件

種別	製品名
オペレーティングシステム	Windows Server 2008 R2
	Windows Server 2012 R2 Update 1
	Red Hat Enterprise Linux 6
Java VM	Java Platform, Standard Edition 7 Development Kit
	Java Platform, Standard Edition 8 Development Kit
	(Java8を使用する際はiAP 2014 Winter以降を使用してください)
Web Application Server	Resin 4.0.37以上(4.0.40 を推奨)
Database	Oracle Database 11g Release 2
	Oracle Database 12c
	PostgreSQL 9.2
	PostgreSQL 9.3
	Microsoft SQL Server 2012
Web Server	Internet Information Services 7.5(IIS)
	Internet Information Services 8.5(IIS) win2012 R2
	Apache HTTP Server 2.2、2.4 (DSO サポート版)
IM-Juggling	Windows 7 (32bit, 64bit)
LibreOffice	LibreOffice 4.2.5
(登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示を LibreOfficeで実行する場合)	



注意

Java VM は次のバージョン以上が前提となります。
Java SE Development Kit 7u21 以上

intra-mart Accel Platform

- intra-mart Accel Platform 2014 Spring, 2014 Summer, 2014 Winter (Standard Edition, Advanced Edition)
- 利用する intra-mart Accel Platform のサーバ要件に準じます。

特定機能の利用時に必要となるサーバ要件

- IMBox を利用する場合
 - [5.2.1. Apache Cassandra システム要件](#)
- IM-ContentsSearch を利用する場合
 - [5.2.2. Apache Solr システム要件](#)
- IM-PDFAutoConverter を利用する場合 (登録したコンテンツのPDF変換・サムネイル表示を IM-PDFAutoConverter で実行する場合)
 - [IM-PDFAutoConverter システム要件](#)
- IM-PDFCoordinator を利用する場合
 - [IM-PDFCoordinator システム要件](#)

クライアント要件

種別	ハードウェア	OS	ブラウザ
PC	PC/AT 互換機	Windows 7 SP1	Internet Explorer 8
			Internet Explorer 9
			Internet Explorer 10
			Internet Explorer 11
			Google Chrome 34以上
			Firefox ESR 24
		Windows 8	Internet Explorer 10
		Windows 8.1	Internet Explorer 11



注意

クライアント要件に記載されているOSとブラウザ以外の組み合わせはサポートされません。

例えば次の組み合わせはサポートの対象外となります。ご注意ください。

* Windows Server 2008 R2 + Internet Explorer 9 など



注意

スマートフォンには対応しておりません。

検証済み環境

以下、弊社動作検証済みの intra-mart 製品と他社ミドルウェア製品との組み合わせとなります。

サーバ環境

スタンドアローン構成

OS	Java VM	Web Server	Web Application Server	Database
Windows Server 2008 R2	JDK7		Resin 4.0.37	PostgreSQL 9.3
Windows Server 2012 R2 Update 1	JDK7	Internet Information Services 8.5(IIS) win2012 R2	Resin 4.0.37	Microsoft SQL Server 2012
Red Hat Enterprise Linux 6	JDK7	Apache HTTP Server 2.4.10	Resin 4.0.37	Oracle Database 12c



注意

intra-mart製品以外(OS、Java VM、Database、Mailサーバ等)に起因する問題はサポート対象外となります。

クライアント環境

OS	ブラウザ
Windows 7 SP1	Internet Explorer 8
	Internet Explorer 9
	Internet Explorer 10
	Internet Explorer 11
	Google Chrome 34
	Firefox ESR 24.5
Windows 8	Internet Explorer 10
Windows 8.1	Internet Explorer 11

サードパーティライセンス一覧

サードパーティ	バージョン	ライセンス	URL
PDFRenderer	0.9.1	LGPL-2.1	https://java.net/projects/pdf-renderer
JODConverter	2.2.2	LGPL	http://www.artofsolving.com/opensource/jodconverter.html
juh	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
jurt	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
ridl	3.2.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/
unoil	3.0.1	ASL2.0	http://www.openoffice.org/udk/

制限事項

- ダウンロードするファイル名に「半角スペース」等の文字が含まれる場合、別の文字に変換されます。
この事象を回避するには、コンテンツとして登録するファイル名にこれらの文字を含まないようにしてください。
変換対象となる文字はブラウザによって異なりますのでご注意ください。
- “.”(半角ピリオド)から始まるファイルはアップロードできません。
- クライアント環境がIE8の場合、以下の制限事項がございます。
 - ・255文字を超えるファイル名のファイルはアップロードできません。
 - ・ファイルサイズが大きい場合、サムネイルが表示されない場合があります。
- クライアント環境がIE8・IE10の場合、以下の制限事項がございます。
 - ・ドキュメント登録画面において、プロパティに「レビジョン・変更履歴」もしくは「レビジョン・変更履歴・公開日・通知」を設定した場合、「ドキュメント名」「コンテンツ」「変更履歴」の各入力欄が入力不可となる問題が発生します。
- サムネイル機能を使用している環境でテキストファイルをコンテンツとして登録する際、所定の文字コードでファイルを作成してください。
所定の文字コード以外で作成した場合、文字化けが発生します。
 - ・LibreOffice サーバのOS:Windowsの場合
テキストファイルの文字コードを「SJIS」で作成、アップロードしてください。
 - ・LibreOffice サーバのOS:Linuxの場合
テキストファイルの文字コードを「UTF-8」で作成、アップロードしてください。
- PDF変換できるファイル形式は、下記の通りです。
 - ・IM-PDFAutoConverter を利用される場合
 - ワープロファイル (doc, docx, txt, rtf)
 - 表計算ファイル (xls, xlsx)
 - プレゼンテーションファイル (ppt, ppx)
 - ・LibreOffice を利用される場合
 - ワープロファイル (doc, docx, txt, rtf, odt, ott, sxw, stw) ※
 - 表計算ファイル (xls, xlsx, ods, ots, sxc, stc)
 - プレゼンテーションファイル (ppt, ppx, odp, otp, sxi, sti)
 - 描画ファイル (odg, otg, sxd, std, wmf, emf)
 - (一太郎読み込み拡張アドオンを使用した場合、下記も対象となります)
jtd, jtt

※今後、LibreOffice のバージョンアップ等によって、一部ファイル形式が対応されなくなる可能性があります。
- コンテンツとして登録した際にファイルがサムネイル化されるかは、下記の通りファイル形式によって異なります。
 - ・PDF変換ソフト (IM-PDFAutoConverter もしくは LibreOffice) が稼動していないともサムネイル化されるファイル形式
 - PDFファイル (pdf)
 - 画像ファイル (png, bmp, gif, jpg, jpeg, jpe)
 - ・PDF変換ソフトが稼動していないとサムネイル化されないファイル形式
前述の「PDF変換できるファイル形式」で記載されているファイル形式を参照ください。
該当しないファイル形式は、サムネイルの代わりにファイルアイコンが表示されます。
- PDF変換ソフトに IM-PDFAutoConverter を利用する場合、一時保存フォルダがC:/temp/iaaに作成されます。
一時保存フォルダの場所を変更したい場合はデータベースのwdcm_envテーブル・env_idカラムの値が'wdcenv_pdf_tempfolder'であるレコードのvalueカラムに変更先のフォルダのパスを設定してください

い。

フォルダのパスには半角英数字のみ使用できます。

- 登録したコンテンツに何も記載されていない場合、PDF変換対象となりません。
- iAAでは以下の方法で変換したPDFファイルで動作確認を行っています。
 - ・Adobe Acrobat XI
 - ・Microsoft office 2010
 - ・LibreOffice 4.2.5

サムネイル機能を使用していない環境でもPDFファイルをコンテンツとして登録した場合は、サムネイル化、およびファイル内の記載されている冒頭のテキストデータを表示します。

動作確認している以外の方法でPDFファイルを作成した場合、正しくサムネイル化されない、冒頭のテキストデータが正しく表示されないなどの問題の発生する可能性があります。

- フォルダのコンテンツのセキュリティ設定で「ブラウザ以外の参照制限」にチェックを付ける事で、ブラウザ上以外でコンテンツを参照(コンテンツをダウンロードして参照)する事に制限をかけられますが、サポート対象外のブラウザでは、ブラウザ上での参照にも制限がかかります。
サポート対象は、IM-PDFCoordinatorのサポート対象に準じます。
[IM-PDFCoordinator システム要件のクライアント要件](#) に記載してある、セキュリティ機能の動作条件を参照してください。
- iAAからは以下の仕様でIM-共通マスタの情報を参照します。
そのため、該当するマスタの期間情報、およびマスタ情報自体の削除・無効化は行わないようにしてください。
 - ・ドキュメントの「作成者」情報について
該当するユーザの名称は、ドキュメント登録時点での期間情報を参照します。
 - ・その他の「ユーザ」「組織」「ロール」「パブリックグループ」を取得する情報について
該当する名称、所属情報などは、最新の期間情報を参照します。
- システムにアップロードするファイルの上限サイズは、システムに影響が出ない範囲で設定してください。
極端に大きいファイルサイズの場合、予期せぬエラーが発生しアップロードできない可能性があります。
- ベースURLが設定されていない場合、ドキュメントの通知・プロパティ相違の通知の機能における「メール」「IMBox」に表示されるURLは、ベースURL部分が表示されません。
この事象を回避するには、ベースURLを設定してください。設定方法は [intra-mart Accel Platform セットアップガイドの5.3.2.2. ベースURL](#) を参照してください。

保証規程

保証内容及び対象

この保証規程（以下、「本書」という。）並びに貴社が当社と締結した一切の契約が定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）

及び制限事項の範囲内にて貴社が本製品を利用することを条件として、当社は貴社に対し、本製品に同封され、又は当社ホームページ（<http://www.intra-mart.jp/document/library/?product=iaa>）に掲載されているマニュアルの最新版のとおり本製品が動作することを保証します。

なお、当該保証は、貴社における内部的使用を目的とする限りにおいて適用されるものです。

また、当該保証は、当社の一方的な裁量により、無償で交換若しくは修補、又はかかる本製品の対価としてイントラマートが貴社から受領した金額の返金のいずれかの方法によるものとします。

上記の対応は、正規の当社製品を購入され、適法かつ誤りなくユーザー登録を完了されたお客様のみに当社が行うもので、当社はその他の対応又は保証、特に本製品をインストールしたハードウェア、接続製品、及びそれらに保存されたソフトウェア、データ等の保証（但し、これに限られない。）は一切行いません。

保証の適用除外

下記の場合は動作保証が適用されません。

- 貴社が、本書又は貴社が当社と締結した一切の契約に定める要件（システム要件を含むがそれに限らない。）その他の制限事項の定める範囲内にて本製品を利用しなかった場合
- 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害等の外部的事情による誤動作の場合
- 合理的な使用方法に反するご利用に起因する場合
- 貴社あるいは第三者が改変・変更等及びそれらの作業を行ったことに起因する場合
- 本製品以外のソフトウェア、ハードウェア等との互換性の問題から生じる場合

免責

本製品に関する当社の損害賠償責任は、理由のいかんを問わず、本製品の「ソフトウェア使用許諾契約書」に定める責任の限定の範囲内といたします。

その他の契約との関係

本製品の保証に関して、貴社が当社と締結した一切の契約と本書の間に齟齬がある場合には、本書の記載が優先するものとします。

著作権および特記事項

intra-mart は株式会社 NTT データ イントラマートの登録商標です。

Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。

文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品を使用する場合は、本製品に含まれる各ソフトウェアのライセンスについても同意したものとします。

以上

